

社会福祉法人ヴィオラ

平成29年度 事業計画

法人本部

福岡県久留米市津福本町 1300 番地 1

すみれ

(特別養護老人ホームすみれ・すみれショートステイサービス)

福岡県久留米市津福本町 1300 番地 1

つぼみ

(小規模多機能型居宅介護 つぼみ・ケアホームつぼみ)

福岡県久留米市津福本町 2010 番地 1

1. 理念・品質方針

(1) 基本理念

あなたの笑顔のために・・・

あなたの大切な人と共に・・・

「最後まで自分らしく」

(2) 品質方針

地域住民を始め高齢者の安心・安全を図り、地域への理解に努め、思いやりの心を持ち、福祉介護を通じ信頼される事業をめざし、奉仕の精神で昼夜努力します。

【運営方針】

常に思いやりの心を持ち、地域との交流の中で地域社会に信頼される事業を目指します。

【方針】

施設を利用される皆様の意見と立場を尊重した真心介護を行います。

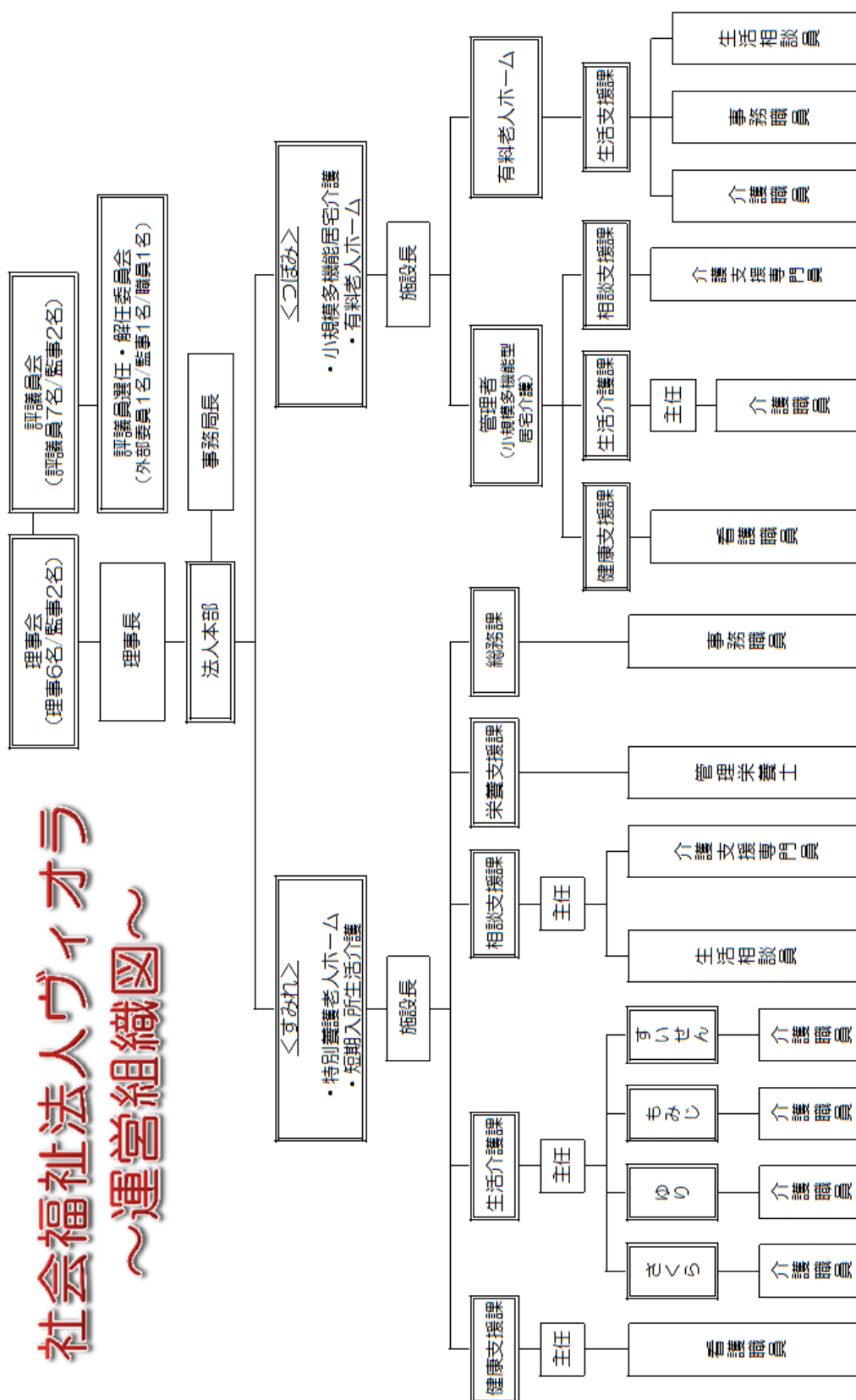
私たち職員相互が信頼・協力し合い、福祉介護の質の向上に努めます。

【私たちの使命】

利用者様が笑顔で生活されているかを常に心がけます。

私たちの笑顔と愛情を持って利用者様と寄り添います。

2. 社会福祉法人ヴィオラ運営組織図



3. 平成29年度 事業計画作成について

本年度の社会福祉法改正の施行に伴い、事業運営の透明性の向上や財務規律の強化、地域における公益的な取組の実地などが社会福祉法人として求められ、福祉業界全体としても福祉人材の確保への取り組みなどが始まります。

また、本年度の介護報酬の改定において、介護人材の処遇改善として処遇改善加算の新たな区分とその要件、加算率の向上が実施されます。

このような中、当法人として行っている取組や経営状況の積極的な情報発信や地域との連携に努めていきます。そして、地域の中の法人として、地域への奉仕や還元に努めます。また、職員一人ひとりが事業目標を意識したうえで自己の具体的目標を掲げ、組織全体が一体となって人材育成及びサービス向上に努めていかなければなりません。

本年度は、中長期計画の中間年度として、前年度を振り返り、目標達成のために不足している部分や次の段階へと進む部分などを勘案し、具体的な事業計画としました。

4. 法人内共通項目

事業経営の重点項目と具体的展開

(1) 公益的な活動の推進と情報発信

- ・ すみれ地域交流ホールを活用し、地域の方や利用者の方を対象とした講座や相談会などを開催することで、本当に必要とされるニーズを見つけ出し支援していきます。また、運営推進会議を活用することで地域と連携していきます。
- ・ 災害や防犯対策、介護に関する情報、社会保険情報など有益な情報をご利用者様、ご家族様、職員、地域の方々へ発信し、地域と連携していきます。

(2) 予算管理の徹底と適正な財務管理

- ・ 最少の経費で最大の効果となるよう、予算に沿った施行を職員全員が意識していき、定期的な予算の見直し及び部署計画の見直しを含めて具体策、具体案を実施します。
- ・ 特別養護老人ホームすみれの年間稼働率目標を97.5%、すみれショートステイサービスの年間稼働率目標を75%、ケアホームつぼみの年間稼働率目標を85%、小規模多機能型居宅介護つぼみの年間稼働率目標を75%とし、ケアの質を向上し、地域や家族の方にそのサービスを知っていただくことで、現在利用されているご利用者様やご家族様から輪を広げ、利用者の獲得を実現します。

(3) 人を育てる風土作り

- ・ 内部研修において、より具体的・実践的な研修を実施し、外部研修においても、どのような研修を受講するか職員が自ら考えていく仕組みづくりをします。
- ・ 職員のライフワークバランスを考慮したうえで、正職員・非正規雇用職員の相互登用や外国人採用などを実施し、正職員になるためのOJT・OFF-JT研修に力を入れていきます。

(4) 理念の浸透と意識強化

- ・ 法人理念及びユニットケアや認知症に関する研修を重点的に実施し、意識の強化を図ります。

5. 会議・委員会

(1) 法人全事業

会議・委員会名	開催目的	開催期日
経営会議	法人全体の連絡・調整	月1回
	理事長、各施設長、各管理者、事務長	
事例検討会議	事故、拘束、苦情など困難事例について対策を検討する	年4回
	理事長、各施設長、各管理者、事務長、各介護主任	
第三者委員会	第三者委員に利用者からの要望・苦情を報告し、事業者の評価とサービスの向上・改善の指導を仰ぐ	随時
	第三者委員、理事長、各施設長、各管理者、事務長、各苦情窓口担当者	
広報委員会	利用者家族・施設関係者・地域の方への広報誌発行、ホームページ更新	年3回
	広報委員	

(2) すみれ

会議・委員会名	開催目的	開催期日
ユニットリーダー会議	施設全体、ユニット間での連絡・調整・サービス改善検討など	月1回
	ユニットリーダー、介護主任、看護主任	
ユニットミーティング	ユニット内での連絡・調整・サービス改善検討、職員研修など	月1回
	ユニット所属職員	
運営推進会議	すみれに関する活動状況等を報告し、運営推進会議の委員から評価、要望、助言等を受け、サービスの質の向上及び適切な運営の確保	奇数月
	施設長、施設職員、久留米市職員、久留米市地域包括支援センター職員、地域の方、ご利用者様、ご家族様	
サービス担当者会議	ご利用者様、ご家族様、多職種によるケアプランの検討や見直し	随時
	介護支援専門員、管理栄養士、看護職員、介護職員、ご利用者様、ご家族様	

入居検討委員会	入居申込者の入居の必要性を評価し、優先順位を決定する	年2回
	施設長、生活相談員、介護職員、看護職員、介護支援専門員、地域の方	
医療安全管理委員会	医療に係る安全管理のための事例検討、医療事故防止、職員研修企画	月1回
リスクマネジメント委員会	事故予防・防止マニュアルの見直し、事故報告の分析・改善策検討、職員研修企画	
感染症対策委員会	感染の調査・予防・監視・指導、感染症発生時の措置、職員研修企画	偶数月
美化委員会	施設内外の設え、清掃、園芸の実施・指導	
給食委員会	給食の嗜好調査、改善、特別食の企画、職員研修企画	月1回
レク行事委員会	クラブ活動・行事の企画実施	
入浴委員会	入浴ケアの見直し、職員研修企画	奇数月
排泄委員会	ケアに関する物品検討、排泄ケアの見直し、職員研修企画	
研修委員会	職員研修の計画立案、各委員会・外部研修受講者による研修のバックアップ	奇数月
防災委員会	防災訓練、点検、防災に関する指導	
ターミナル委員会	ターミナルケア指針・マニュアルの見直し、ターミナルケアの検証・教育、職員研修企画	偶数月
褥瘡予防委員会	褥瘡予防マニュアルの見直し、褥瘡予防の実施・監督・指導、褥瘡ができた場合の措置、職員研修企画	奇数月
記録委員会	記録の見直し、改善検討、職員研修企画	偶数月
身体拘束排除委員会	身体拘束廃止の現状把握・改善策検討、職員研修企画	偶数月
接遇委員会	接遇の見直し、職員研修企画	

(3) つぼみ

会議・委員会名	開催目的	開催期日
運営推進会議	つぼみに関する活動状況等を報告し、運営推進会議の委員から評価、要望、助言等を受け、サービスの質の向上及び適切な運営の確保	奇数月
	管理者、職員、久留米市職員、久留米市地域包括支援センター職員、地域の方、ご利用者様、ご家族様	
サービス担当者会議	ご利用者様、ご家族様、多職種によるケアプランの検討や見直し	随時
	介護支援専門員、関係職種職員、ご利用者様、ご家族様	
職員会議	職員間での連絡・調整・サービス改善検討	月1回
	全職員	
リスクマネジメント委員会	事故予防・防止マニュアルの見直し、事故報告の分析・改善策検討、職員研修企画	月1回

(4) その他

項目	開催期日
防災訓練（総合）	4月・10月
防災訓練（部分）	随時
職員健康診断	6月・12月

6. ユニット型地域密着型介護老人福祉施設 (特別養護老人ホームすみれ)

(1) 相談支援

① 生活相談・入居検討委員会

【中長期計画】

- ・ 適切な入退居の手続きと稼働率の確保

【年度目標】

- ・ ご利用者様の事前面接の調整、受け入れる体制等を適切に機能させ、稼働率を確保し、安定的な収入を得ることができるようにする。
- ・ 情報収集及び収集した情報の共有を徹底する。

【実施計画】

- ・ 入居判定委員会において公正で適切な入居判定を行い、待機者の方への速やかな連絡や情報発信に努め、入退居に伴う空床率を年間通して0.25%（退居後6～7日を目安とする）とする。
- ・ ご利用者様本人やご家族、病院などから入居前の情報を十分に聞き取り、入居後も今までの生活が継続したものとなるよう、細やかな支援を行い、職員間で密な情報共有を行っていく。

② 施設サービス計画

【中長期計画】

- ・ スムーズなターミナル対応の確立とターミナルケアマニュアルの修正
- ・ ケアプランを基本とした介護スキルの向上

【年度目標】

- ・ ユニットケアにおけるターミナルケアとは何なのか振り返り、技術的な面でのターミナルケアだけでなく、ご利用者様やご家族様の心に寄り添ったケアを実施していく。
- ・ ご利用者様の嗜好や状態に応じた総合的なケアプランを他部門と連携して作っていく。

【実施計画】

- ・ すみれでのターミナルケアとしてどのような対応ができるのか、ご利用者様やご家族様に理解していただけるよう情報発信していく。また、ご利用者様の体調の変化を見逃さず、日頃からご家族様への報告やコミュニケーションをとっていく。
- ・ ご利用者様が何を望んでいるのか、入居前の聞き取りだけでなく、職員全体で意識して情報収集していき、他部門の計画とも連動していく。

(2) 介護

① 介護職員の育成

【中長期計画】

- ・ 書類（手順書・記録・マニュアル）の整備、保管管理のルール化と適切な運用
- ・ 研修計画に基づいた内部研修及び外部研修を活用した人材育成

【年度目標】

- ・ 各委員会を中心とした書類の整備や研修を実施していく。
- ・ 職員の積極性を育成する。

【実施計画】

- ・ 各委員会の年度目標・年間計画を作成し、定期的な評価・見直しを実施する。
- ・ 外部研修の成果をフィードバックする場を設け、外部研修に参加した者だけでなく、知識の共有ができるようにする。
- ・ 職員が自ら参加したい研修を申し出る仕組みを構築し、次年度の研修計画についても委員会で検討し、職員の参画を目指す。

② ユニットケア

【中長期計画】

- ・ ユニットケアの浸透

【年度目標】

- ・ 24Hシートの意義を全職員が理解し、活用する。
- ・ 入居者が自分の住まいと感じられる環境を整備する。

【実施計画】

- ・ 24Hシートが何故必要なのかを理解した上で、各居室担当者を中心として24Hシートを見直し、24Hシートに基づいたケアが実施できるようになる。
- ・ 各ユニット「しつらえ担当者」を決め、環境整備に取り組む。また、ユニットケア推進委員会においてしつらえチェックのユニット巡回を実施する。

③ 行事スケジュール

月	行事名	開催内容
4月	避難訓練	夜間帯の有事を想定して訓練を行い、被害の拡大防止に備える。
5月	菖蒲湯	入浴時に菖蒲湯を楽しんで頂く。
6月		
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 七夕 ・ 子供みこし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短冊に願い事を書き、笹に取り付け、季節を感じて頂く。 ・ 地域の子供達におみこしを施設内まで回って頂く。
9月	敬老会	ご利用者様の長寿のお祝いをする。
10月	避難訓練	夜間帯の有事を想定して訓練を行い、被害の拡大防止に備える。
11月		
12月	冬至風呂	入浴時に柚子湯を楽しんで頂く。
1月	初詣	玉垂宮に行き、新年の祝いと1年の健康と幸せを祈る。
2月	お茶会	地域のお茶教室の子供達にお茶会を開催して頂く。
3月	ひな祭り	甘酒と和菓子でひな祭りを楽しんで頂く。

この他、各ユニットにて外出レクリエーション、誕生会等を実施する。

(3) 看護

【中長期計画】

- ・ スムーズなターミナル対応の確立とターミナルケアマニュアルの修正
- ・ 誤嚥性肺炎の対策や感染症対策など施設内の安全性の向上

【年度目標】

- ・ 医務内で毎日の情報を共通できる工夫
- ・ 毎日の医療処理の徹底と評価

【実施計画】

- ・ 日々の記録漏れを無くし、ユニットと連携して24Hシートを修正する。
- ・ 記録の『見える化』を目指し、表などを活用し、評価をしやすくなることで、多職種間の情報共有化を図る。

(4) 栄養（食事サービス・栄養ケアマネジメント・委託調理）

【中長期計画】

- ・ ユニットケアの浸透

【年度目標】

- ・ 利用者に喜ばれるようなイベント食の充実
- ・ ユニットケアを活かした食の充実

【実施計画】

- ・ 実演を含んだバイキングを実施することで、利用者に食の楽しみを感じて頂く。
- ・ 家族や地域の高齢者に向けた給食便りの発行し、外部への情報発信に努める。
- ・ 外で食事をする企画を立案し、普段とは違う環境で食事をするにより、食欲を増進させる。

7. 短期入所生活介護サービス（すみれショートステイサービス）

【中長期計画】

- ・ 事業経営稼働率の確保による安定的な収入確保
- ・ ユニットケアを実施するショートステイとしての強みを確立

【年度目標】

- ・ ご利用者様の様子や発言、ADL の状態、不穏時の様子を記録し、情報共有を徹底する。
- ・ 季節を感じられる場所への外出や、買い物レク、外食などご利用者様の状況に合わせて計画し、レクリエーションを充実させる。

【実施計画】

- ・ ご利用者様の日々の様子だけでなく、職員の声掛け方や行動なども細かく記録していく。また、新規利用者については、通常以上にご利用中の様子や ADL の状態を細かく記録していく。
- ・ ご利用者様へのご希望の聞き取りを行ったうえで、外出レクリエーションの場合は事前に下見を行い、ご利用者様の状態やその日状況を考慮して、柔軟なレクリエーションを実施していく。

8. 住宅型有料老人ホーム（ケアホームつぼみ）

【年度目標】

- ・ 平均入居率85%を確保する。
- ・ ご入居者様、ご家族様との信頼関係を構築する。
- ・ 地域の自治会に参加し、地域に施設を知ってもらい、地域の中の施設として、施設全体で関わっていく。

9. 小規模多機能型居宅介護サービス（つぼみ）

【年度目標】

- ・ すみれと連携した研修を実施し、ケアの質の向上を図る。
- ・ ご利用者様一人ひとりの要望を聞き取り、レクリエーション計画を立てる。
- ・ 運営推進会議を活かした外部評価を実施し、サービス強化を図る。

【年間行事計画】

月	行事名	開催内容
4月	・ お花見 ・ 避難訓練	・ 桜の花を観賞し、季節を感じて頂く。 ・ 有事を想定して訓練を行い、被害の拡大防止に備える。
5月	・ 菖蒲湯 ・ バラフェア	・ 入浴利用の方に菖蒲湯を楽しんで頂く。 ・ 石橋文化センターで、バラの花を観賞し、季節を感じて頂く。
6月	お買い物ツアー	併設のケアホームつぼみと協同で外出し、お買い物を楽しんで頂く。
7月	七夕まつり	短冊に願い事を書き、笹に取り付け、季節を感じて頂く。
9月	敬老会	ご利用者様の長寿のお祝いをする。
10月	お買い物ツアー	併設のケアホームつぼみと協同で外出し、お買い物を楽しんで頂く。
11月	紅葉ツアー	柳坂曾根のハゼ並木を散策し、季節を感じて頂く。
12月	・ 冬至風呂 ・ クリスマス会	・ 入浴利用の方に柚子湯を楽しんで頂く。 ・ ゲームやケーキを楽しんで頂く。
1月	初詣	玉垂宮に行き、新年の祝いと1年の健康と幸せを祈る。
2月	植木まつりツアー	百年公園の植木まつりを見に行き、楽しんで頂く。
3月	ひな祭り	甘酒と和菓子でひな祭りを楽しんで頂く。

※ 各月ごとに誕生会を開催するほか、行事とは別にご利用される方の要望や生活を大切にしながら、外出や料理、様々な取組を行っていく。

10. 職員研修

福岡県社会福祉協議会、久留米市サービス事業者協議会、久留米市等が主催する研修に参加する。また、すみれ・つぼみ連携して内部研修を実施する。

<内部研修>

	内容	担当
4月	理念研修	理事長
	ユニットケア研修（ユニットケアとは）	ユニットケア推進委員会
5月	感染症・食中毒に関する研修	感染症対策委員会
	ユニットケア研修（24Hシート）	記録委員会
6月	ターミナルケアに関する研修	ターミナル委員会
	認知症に関する研修	すみれ施設長
7月	緊急時の対応に関する研修 （AED・心肺蘇生等）	外部講師
8月	事故発生時の対応、予防、再発防止に関する研修	リスクマネジメント委員会
	メンタルヘルス研修	つぼみ施設長
9月	腰痛予防研修	外部講師
	認知症に関する研修	すみれ施設長
10月	感染症（インフルエンザ・ノロウイルス等）に関する研修	感染症対策委員会
	ユニットケア研修	ユニットケア推進委員会
11月	権利擁護、虐待防止に関する研修	接遇委員会
	褥瘡予防に関する研修	褥瘡予防委員会
12月	事故発生時の対応、予防、再発防止に関する研修	リスクマネジメント委員会
	認知症に関する研修	すみれ施設長
1月	食事に関する研修	給食委員会
	口腔ケアに関する研修	外部講師
2月	身体拘束廃止に関する研修	身体拘束廃止委員会
	ユニットケア研修	ユニットケア推進委員会
3月	1年のまとめ、振り返り	
随時	新人教育プログラム	
	OJT研修	
	非正規職員スキルアップ研修	

<外部研修>

内容	部署・人数
社会福祉法人役員研修	法人本部（2名）
特別養護老人ホーム経営セミナー	すみれ（1名）
老人福祉施設協議会宿泊研修	すみれ（1名）
指導力向上研修	すみれ（1名） つぼみ（1名）
ユニットリーダー研修	すみれ（1名）
認知症介護実践者研修	つぼみ（1名）
新入社員水琉アップ研修	すみれ（2名）
会計実務講座	すみれ（1名）
高齢者虐待防止研修	すみれ（1名） つぼみ（1名）
看護実務者研修	すみれ（1名）
苦情解決に関する研修	すみれ（1名） つぼみ（1名）
介護技術向上研修	すみれ（5名） つぼみ（2名）
特定給食施設等研修会	すみれ（1名）
認知症対応研修	すみれ（2名） つぼみ（1名）
感染症予防研修会	すみれ（1名） つぼみ（1名）
医療安全対策研修会	すみれ（1名）
福祉食品セミナー	すみれ（3名） つぼみ（1名）

1.1. 平成29年度 中長期計画

法人内共通部門	
1	キャリアパスの定着化と適切な人事評価の実施及び職務権限・分掌の整理
2	研修計画に基づいた内部研修及び外部研修を活用した人材育成
3	固定資産・備品の購入計画作成と確実な執行体制の確立
4	書類（手順書・記録・マニュアル）の整備、保管管理のルール化と適切な運用
5	全職員が災害時の役割を理解し、行動できる。
6	地域に開かれた施設として、高齢者をとりまく問題提起や情報発信、人材確保やご利用者様確保に通じる情報発信ができる。
7	ボランティア受け入れの仕組みを確立し、ボランティアを有効に活用しご利用者様の生活全般の向上及び職員の業務負担の軽減を図る。
特別養護老人ホームすみれ	
8	スムーズなターミナル対応の確立とターミナルケアマニュアルの修正。
9	誤嚥性肺炎の対策や感染症対策など施設内の安全性向上。
10	ケアプランを基本とした介護スキルの向上。
11	適切な入退居の手続きと稼働率の確保。
12	食事面からも排便コントロールに取り組み、自然排泄を促す。
13	ユニットケアの浸透。
すみれショートステイサービス。	
14	事業経営稼働率の確保による安定的な収入確保。
15	ユニットケアを実施するショートステイとしての強みを確立。
ケアホームつぼみ	
16	平均入居率90%を確保する。
17	ご利用者様に安心・安全に生活して頂く。
18	すみれと連携し、楽しめる食事の提供。
つぼみ（小規模多機能型居宅介護）	
19	ご利用者様を主体とし、自分らしく過ごして頂けるケアを確立。
20	地域活動へ参加し、地域との交流を図る。

12. 平成29年度予算